

クレディセゾン DX 戦略「CSDX 戦略」を策定し、全社横断で推進 ～期待を超える感動体験を提供するデジタル先進企業を目指して～

株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区、代表取締役(兼)社長執行役員 COO：水野克己、以下：当社）は、デジタル技術活用によるビジネス変革・転換に取り組み、お客様の期待を超える感動体験を提供するデジタル先進企業を目指し、2021 年 9 月、デジタルトランスフォーメーション戦略（以下、CSDX 戦略）を策定いたしました。

全社横断型の DX 推進体制を構築し、デジタル人材の育成、および内製化の推進等に取り組むことで、ビジネス変革・転換を進め、サービスを通じた新たな顧客体験の提供に取り組んでまいります。

『CSDX VISION』

デジタル技術を活用することで、クレディセゾンのビジネスを
変革・転換し、期待を超える感動体験（「お客様の感動体験を
創出」「社員の体験を転換」）を提供することで、デジタル時代を
先導する企業を目指します。



■ CSDX 戦略について

2019 年に CTO を責任者としてデジタル専門組織であるテクノロジーセンターを立ち上げ、これまでもエンジニア、データサイエンティストなどのデジタル人材の採用を積極的に行ってきました。「CSDX VISION」を実現するため、IT 部門とデジタル部門の融合や、ビジネス部門と IT・デジタル部門の連携を強化し、全社横断で CSDX を推進する体制の構築に取り組んでいます。

（1）デジタル人材の育成

デジタル組織への変革を加速させるため、研修制度や組織体制の変革を行います。各事業を推進するビジネス部門から、本人希望に応じて、ソフトウェア開発を担当するデジタル部門に配属し、ゼロからプログラミングのスキルを習得する制度の開始により、ビジネス知識とデジタル知識・スキルを保有するビジネスデジタル人材の育成を推進します。また知識やスキルに応じて 3 階層にデジタル人材を定義し、階層に応じた研修・育成プログラムを実施していきます。

（2）内製化推進

デジタル部門とビジネス部門が一体となり、課題解決につながるシステムを開発する推進体制（伴走型内製開発）により、スピーディーかつ柔軟なサービス開発と知見の蓄積、コスト削減を実現します。

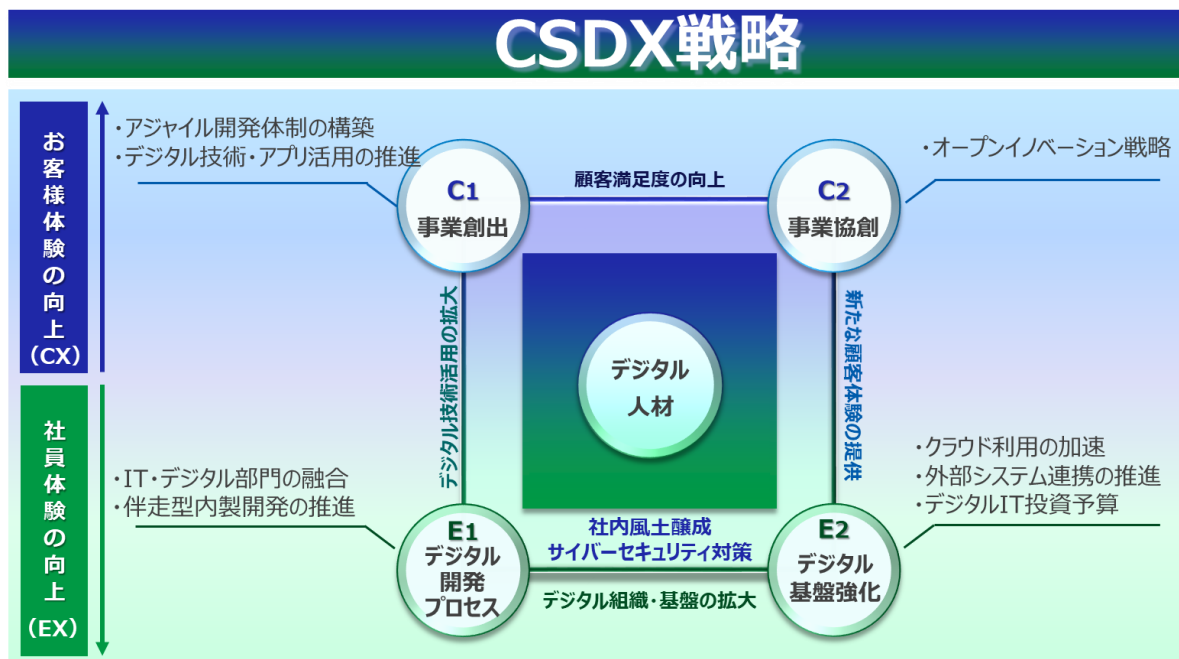
なお、実行にあたり、失敗が許されない領域に適した安定性を重視する開発（モード 1）と、スピードを重視し、時代の変化に素早く対応する開発（モード 2）の双方を協調するバイモーダル戦略を推進します。

(3) デジタル基盤強化

積極的なクラウドファーストでの開発や既存システムのクラウド移行を推進し、コミュニケーション・データ利活用を目的に外部システムを活用することで、業務効率化やサービスの精度向上を進めます。

(4) アジャイル開発体制の構築

素早く改善することで顧客体験向上につながるサービスやプロダクトにおいては、ビジネス部門とテクノロジーセンターで組成したチームによるアジャイル開発体制で推進します。



【参考】 CSDX 戦略詳細情報

クレディセゾン企業サイト「クレディセゾンのDX」：<https://corporate.saisoncard.co.jp/business/csdx/>

CSDX 戦略資料：https://corporate.saisoncard.co.jp/business/csdx/pdf/csdx_210907.pdf